

令和3年度市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：地域が抱える問題について

【日 時】 令和3年5月17日（月） 18時30分 ～ 19時30分
【場 所】 鵜の島ふれあいセンター
【出席者】 ○篠崎市長 ○地区代表者 鵜の島地区自治会連合会会長 : 加藤 洋治 鵜の島地区社会福祉協議会会長 : 大野 靖英 鵜の島地区婦人部連絡協議会会長 : 片岡 直子 鵜の島地区人権教育推進委員協議会会長 : 加藤 節子 ○政策広報室長 ○総合戦略局 ○事務局（広報広聴課、行政改革推進課）
【概 要】 1 開会 2 参加者自己紹介 3 市長あいさつ 4 意見交換・懇談 5 閉会
【意見交換・懇談】 ○若い世代の行事参加と指導者育成について 【自治会連合会会長】 ・30～50歳代に各行事に参加してもらえるような計画を立てていきたい。また次世代への準備をする事を心がけたい。そのために30～50歳代の指導者育成について行政の力を借りたい。また、指導者事例があれば教えてほしい。 【市長】 ・他地区からも、自治会の高齢化をはじめとする様々な課題、意見をいただいている。 ・地域の皆さんが地域活動に参加しやすい環境を整える必要がある。一案であるが、例えば、地域企業の協力のもと、ノー残業デーの日を地域活動の日として設け、地域活動に参加しやすい仕組みをつくりたいと思っている。また協力した企業にもメリットがあるような仕組みを考えている。 ・指導者育成については、専門性をもつ民間団体等に委託し自治体活動を支援していきたい。また地域計画の見直しや成功事例の共有を図り、各地区ならではの地域計画にブラッシュアップしていただける仕組みづくりを考えている。

○高齢者の集いの場、機会の創出について

【社会福祉協議会会長】

- ・高齢者が集まる機会が少ない。現在、地域内で高齢者が集える場所は2か所だけである。地区は7分団にわかれており、それぞれに、集える場所があれば、高齢者が集う機会が増えると考えている。

【市長】

- ・新たな交流の拠点として、鵜ノ島小学校の空き教室を改築した資料館（コミスクルーム）を活用し、様々な高齢者向けプログラムを実施していく予定。
- ・高齢者の外出には、地域内交通の整備も必要と考えている。地域内交通のニーズを把握するため、地域で調べて教えてほしい。そのうえで地域内交通の政策を実施していきたい。
- ・またコロナ禍でも新しい生活様式に対応して外出できる仕組みを作りたい。やりたいことがあれば相談してほしい。

○ふれあいセンターの建て替え、移設について

【婦人部連絡協議会会長】

- ・ふれあいセンターの調理室が2階に設備されているが、出火等有事の際に避難がしやすいよう、1階に調理室を作ってほしい。またガスコンロも3台くらいに増やしてほしい。
- ・ふれあいセンターの駐車場が狭く十分な台数の車が駐車できない。車で来所する方も多いため、十分な駐車台数が確保できるスペースがほしい。
- ・ふれあいセンターは避難場所にもなっているが、海拔が低い。その点も踏まえて移設場所を検討してほしい。

【人権教育推進委員協議会】

- ・岬ふれあいセンターは小学校内に設置されているが、当地区では鵜の島公園も十分な広さがある。小学校もしくは鵜の島公園に、ふれあいセンターを移設できないか。

【市長】

- ・鵜の島ふれあいセンターは築41年経過し耐震性がないこともわかっており、駐車場等の問題もあるため、近隣の学校施設内に機能移転を考えている。
- ・学校敷地内にふれあいセンターを設置する場合のさまざまな課題が見えてきた。一方で地域拠点としてのメリットも多い。例えば、調理室を学校と共有し、効率が良い面もある。ご提案いただいた鵜の島公園への移設も含めて検討したい。
- ・災害はいつ起こるか分からない。避難できる仕組みを作らねばならない。

○ごみステーション更新の補助金について

【社会福祉協議会会長】

- ・市から、ごみステーション更新の補助金が出るようになった。今後も継続されるのか。

【市長】

- ・ごみステーションの整備は、まちづくりの上で非常に大切だと考える。街並みが汚れているとまちの治安悪化にもつながることから、継続していきたい。

○地域内交通について

【人権教育推進委員協議会】

- ・鵜の島地区は南北にわかれ、特に北側の山手は車がないと移動に困る。鵜の島での地域内交通の手段ができれば非常に助かる。

【婦人部連絡協議会会長】

- ・以前は桃山中学校行きのバスがあったがそれもなくなり、バスが使いにくくなった。

【市長】

- ・地域内交通についてはうまくいっていない地区がある。うまくいっていない原因を分析し課題解決を図ることが大切。制度がよくわからないという意見もあり、利用者に情報が伝わっていない事も一因だと考える。
- ・他地区でも、地域内交通のバスはあるが不便なため使わないとの意見があった。利用者である住民の生活に必要なものを見定めて取組を進めていきたい。

○コミュニティスクール

【人権教育推進委員協議会】

- ・子どもは地域で育てていかなければならない。鵜ノ島小学校でもコミュニティスクールの制度を取り入れているが、校長が変わると引き継ぎがされない。本当に進めていくのであれば、制度をしっかりと確立し、地域と連携をしてほしい。

【市長】

- ・コミュニティスクールがうまくいっている地区は、「成績が上がる・非行が減る」という結果がでる傾向がみられる。地域の方にとっても、子どもの笑顔が元気をもたらすという点もあり、コミュニティスクールの運営、運用について徹底したい。
- ・地域の皆さんにも学校に参加してほしい。教師の負担軽減のためにも、地域の皆さんの支援を得ながら進めることは大切である。
- ・校長次第というのも現実である。総合教育会議で市長としてコミュニティスクールの重要性をしっかりと説明していきたい。子ども達のよりよい教育環境を作るため、地域の意見もしっかり聞いていきたい。

○自治会への加入拒否について

【婦人部連絡協議会会長】

- ・転入してきても自治会に入らないという方も多い。市からは「自治会に入らなくてもよい」と言われたと聞いた。

【市長】

- ・自治会へ加入しなくてもよいとは言っていないが、加入を強制することはできない。

説明の仕方については担当部署に確認するが、地域は支え合うという考え方のもと、地域の在り方を検討したい。

○悪質なゴミ出しについて

【婦人部連絡協議会会長】

- ・ごみの出し方のルールを守らない人がいる。いつも黒いゴミ袋で出しており、一度に10袋くらい出していたこともある。警察にも相談をしたが、ゴミステーションに捨ててある以上、警察での対応はできないと言われた。張り紙等で注意を促したが改善されない。
- ・環境衛生の勉強会の際、ゴミステーションで回収されないごみは、何日かそのままであれば市が回収してくれると聞いたが、なかなか回収されない。連絡しないと回収されないのか。
- ・抑止のために監視カメラの設置を検討したい。

【市長】

- ・悪質なごみの出し方については、市で確認したい。
- ・回収されないごみの対応についても、持ち帰り担当課に確認する。
- ・監視カメラの設置はプライバシーの侵害の点について検討する必要がある。また、地域住民の同意、理解も必要。法的な整理も必要なため、持ち帰り確認する。

【市長】

- ・ご高齢者のこと、ゴミステーション、ふれあいセンターのことなど、様々な貴重なご意見をいただいた。改善できるよう、持ち帰り検討したい。
- ・今日がスタートとして、しっかり地区の皆さんの声を聴き、課題をひとつひとつ解決していきたい。
- ・少子高齢化が進む一方でデジタル化なども進み、時代は劇的に変化しているが、暮らしやすくなったといわれるよう努めていく。ひきつづきご提言をいただきたい。